

道場使用上の注意（新型コロナウイルス感染症対策）

道場利用の際も、「三密」（密接・密閉・密集）を避けるなど「基本的な感染症対策」を心がけてください。

1. 検温・マスク着用（咳エチケット）

道場へ行く際は、検温して平熱を確認したうえで、マスクを着用。マスク着用無き対話は控える。射場内のマスク着用も構いません。射場で他者を対面指導される場合もマスク着用を。

2. 念入りな手洗いの励行

玄関入退出時、矢取り時は、備え付けの石鹸・手指消毒液などで念入りに手洗い。また、洗顔も心がける。

3. 対話は距離を確保

対話（特に控室内）はお互いの間隔をあけて行う。（目途 2m）

4. 換気の徹底（控室の利用）

- ・控室利用時は、常時ドア（2ヶ所）・窓を開け放しにして換気をする。但し、退出時には、窓の閉鎖を忘れなく。
- ・長時間の控室利用（含む飲食）を避ける。飲食は、矢取り道の椅子で摂ることが望ましい。

5. 道場利用辞退

万一、平熱と異なる高熱・咳等風邪のような症状など、少しでも体調に不安が生じた場合は、直ちに道場利用を辞退してください。

6. 油断禁物（長期化の見通し）

現状、第2波襲来リスクなど地球規模で猖獗した新型コロナウイルスを完全に抑え込むことは困難で長期化しそうです。お互いに三密排除・マスク・手洗いなど「基本的な感染症対策」を弛めることなく、この未曾有の難局に対応していきましょう。

以上